

日本海溝海底地震津波観測網(S-net)の概要と地震検知能力

植平 賢司(防災科学技術研究所)

- 2016年2月より海溝軸外側海域以外の125観測点のデータ伝送が順次開始(図1)
- 2017年4月より海溝軸外側海域も伝送が始まり、S-net全150観測点が稼動状態となった。
- 海溝軸外側付近まで概ねM1.5以上の地震の検知が可能。
- S-net観測網により海域で発生する地震の震源決定精度が上った(図2、3)。
- 北海道沖から房総沖の海溝軸付近までの海域にかけての地震のモニタリング能力が上がった。

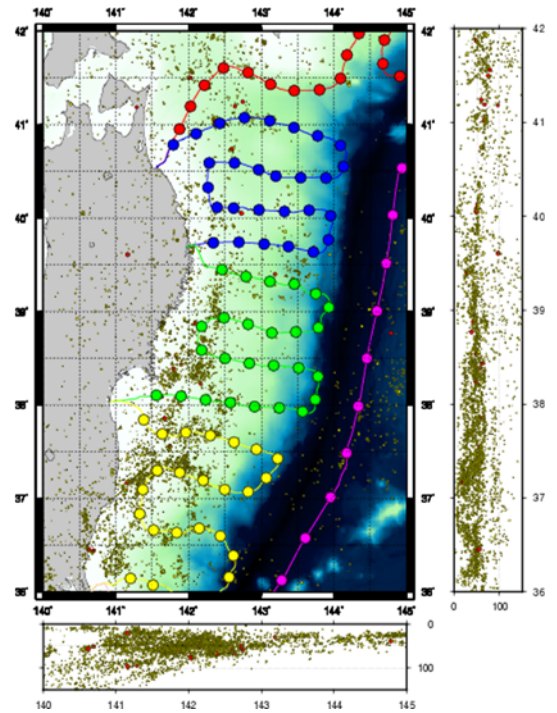


図2 東北沖の震源分布図

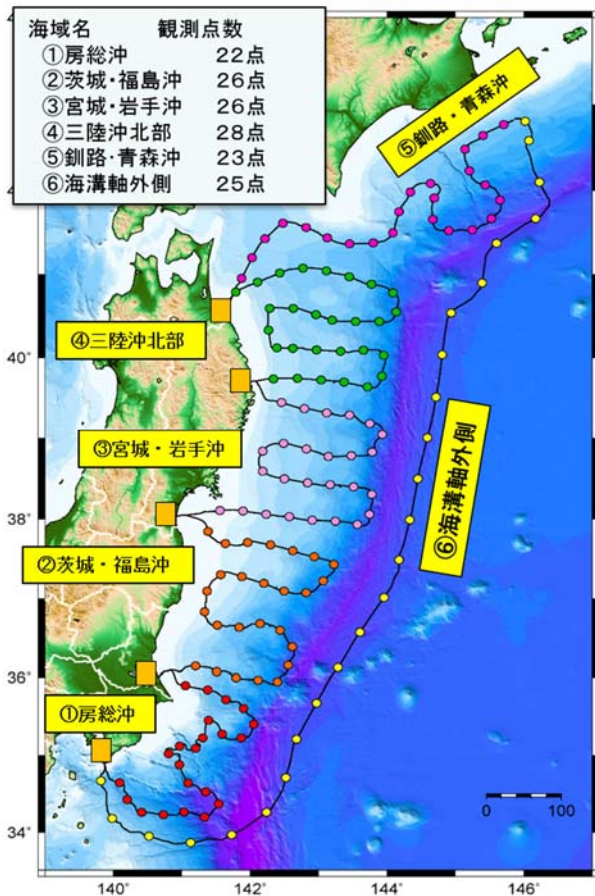


図1 S-netの観測点配置図

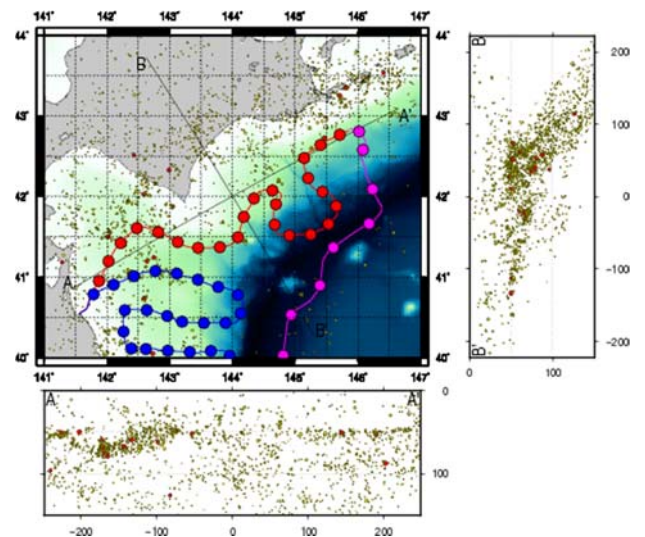


図3 北海道沖の震源分布図